

今年もよい年でありますように！



吉田地区ネットワーク会議、吉田公民館主催：餅つき大会



益田ボランティアハウスにて：しめ縄作り

教育委員会だより

益田市教育委員会

平成27年1月17日発行

第4号

益田市教育委員長として

教育委員長 平谷 太

この度、益田市教育委員長に就任いたしました。微力ではありますが、この重責を担って参ろうと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

さて、わたしは、これまで教育行政に携わる機会が少ない一方、事業を通じての親世代の成長に注目して参りました。

島根県内の理念経営を行っている皆さんとの交流や、県外企業との交流を通じ、子どもを育む親として社員の皆さんの成長を如何にもたすのか？を常に考え、県内企業の経営者の皆さんと共に学び・実践を行いながら、社会環境の変化の中でも変わらない軸を持った従業員の方を育む事に尽力して参りました。

今の世の中は、激変とも評されるような変化の激しい時代であり、そこに影響を受けるのは、未だ判断の軸を持

ち得ていない子どもたちであります。その子どもたちには「正しい考え方」を「教え・伝えて行く」のは我々大人の使命でもあります。そのような人の存在こそが、今最も必要とされているものと感じております。

この素晴らしい益田市に於いて、我々大人が成長し、そして子どもたちに伝え、時代に左右されない「ふるさと」の香りがする素直な子どもを育む事に、これからも尽力して参りたいと思います。この度の機会を通じて、より教育行政に対しても理解を深め、微力ながら力を尽くして参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

目次

表紙（学校紹介）	・・・ 1 P
教育委員長寄稿	・・・ 2、3 P
カラフル給食タイム	・・・ 4 P
寄付、寄贈のお礼	・・・

発見！ 驚き！ ふるさと大発見・見学バスの旅

益田小学校 3年生

益田小学校の3年生70名は、社会科の「農家の仕事」の学習でJA飯田選果場に見学に行きました。

まず、メロンを栽培しているビニールハウスでJAの職員の方に栽培方法について教えていただきました。日焼け防止のためにメロンに新聞を被せたり、実を一つだけ残して立体栽培をしたりしていることなどをお聞きすることができ、高級メロンのおいしさの秘密を知ることができました。

また選果場では、トマトを選別し出荷するまでの様子を見ながら、たくさんさんの質問にも答えていただきました。子どもたちは、機械が瞬時に大きさを識別したり、糖度を測定したりする様子を目の当たりにし、食い入るように説明を聞いていました。

益田の特産品であるメロンとトマトが様々な作業を

経て出荷されることを知るとよい学習となりました。



J A飯田選果場の見学

吉田南小学校 4年生

吉田南小学校の4年生は、社会科の「郷土をひらく」の学習で、万葉公園に出かけました。

ここには、江戸時代の中ごろ、長嶺嘉左衛門が高津沖田地区の田んぼに水を流すために作った蟠竜湖疎水の間歩の入り口があります。

児童はこれまで、「益田ふるさと物語」を資料として、長嶺嘉左衛門の村人と思う気持ちや、決してあきらめな

い強い意志、当時の疎水工事の大変さについて学んできました。

実際に間歩の入り口に行くと、うつそうと木々が生い茂り小さく暗い間歩の様子に、当時の人々の苦労を感じ取っていたようでした。

そして、その苦労のもとに、毎年豊かな実りを続ける田んぼの姿があることを改めて学ぶことができました。



蟠竜湖間歩の見学

就任のごあいさつ

教育委員 渡辺 隆

平成26年10月3日付で、益田市教育委員会委員に就任しました渡辺隆です。

農業をしています。世の動きは早く、毎日勉強しながら技術や知識を吸収しています。

以前、教育行政にも関わったことがあり、皆と一緒に学び、皆と一緒に次のステップへ進もうと心掛けた事を思い出します。

丁度全国的に生涯学習が注目されている時代で、社会教育という名称が生涯学習に変わる時期、各地で地域おこし・町づくりが展開されていました。学習によって町が変わって活力ある地域が多

く生まれ、学習することにより次のステップに進めることを実感しました。

現在益田市も地域自治組織構想が進められています。公民館も指定管理者制度を導入しようかという時期、教育委員としてよりよい社会教育の実現のため討議に参加し、生涯を学習し続ける環境づくりに努力したいと思っています。

よろしくお願いします。



職員の異動がありました

平成26年10月1日付人事異動による新任職員を紹介します。



社会教育課 スポーツ推進係

主任 寺戸 一朗

よろしくお願いします。

運動遊び“友一遊”プロジェクト実施中！

現在、子どもたちはテレビやゲームの影響を受け、体を使った群れ遊びをする機会がめっきり少なくなりました。動的な遊びが激減し、静的な遊びへ移行してきたという変化は、体力の低下だけでなく、心の発達にも影響を与えていると言われています。

社会教育課では、この状況を改善していくため、つろうて子育てプロジェクトの一環で、「運動遊び“友一遊”プロジェクト」を実施しています。これは、各地区のスポーツ推進委員等が中心となり、学校の昼休み、放課後、土日などに、子どもたちが運動遊びをする機会を作っていくものです。

道川小学校では、昼休みに全校で運動遊びをしました。「さんまとコック」「ブタとコック」等、楽しみながら体を鍛える運動や「人間知恵の輪」というみんなで協力す



中西スポーツクラブでの様子

る運動などを行いました。また、吉田南小学校では放課後に、ボランティアハウスと放課後児童クラブの共催で運動遊びをしました。おにごっこを中心に持久力を高める運動を行いました。どこの会場でも子どもたちは体を動かすことや大人とのふれあいを楽しんできました。こういった場をそれぞれの地域で増やしていきたい、友だちとのコミュニケーションを学び、体を動かすことの喜びや楽しさを経験してほしいと考えています。

1月26日は文化財防火デーです

文化財防火デーとは

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。昭和24年1月26日に、世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損しました。この事件は国民に強い衝撃を与え、災害から文化財を守ろうという機運が高まったことから、翌25年には文化財保護法が制定されました。

文化財防火デーもこの事件がきっかけとなり、法隆寺で火災が起こった日であること、1年の中で1月・2月が最も火災の多い時期であることから、毎年1月26日と定められました。昭和30年の第1回以来、毎年1月26日を中心に、文化庁、消防庁、都道府県・市区町村教育委員会、消防署、文化財所有者、地域住民等が連携・協力して、全国で文化財防火運動が展開されています。

益田市の取り組み

益田市では文化財防火デーにあわせて、益田広域消防本部と協力し、消防訓練を実施しています。

昨年度は、国指定史跡及び名勝の雪舟庭園や国の重要文化財の本堂などを所有する萬福寺で、訓練を行いました。



放水訓練の様子

消防のポンプ車と萬福寺に備え付けの放水銃による放水訓練、消火器を使った消火訓練を実施しました。消火訓練は、見学に来られた益田

小学校の教職員の方、近隣にお住まいの住民の方に実践していただきました。



消火訓練の様子

今年度は1月26日、月曜日9時30分から高津柿本神社にて、同様の訓練を行います。訓練の様子はどなたでも見学できます。

地域の大切な財産である文化財を災害から守るためにも、日頃からの災害に対する備えにご協力ください。

働く事、人と接する事の大切さ、職場体験学習を通じて

学校給食で得る学び！

学校給食共同調理場では毎年「職場体験学習」を受け入れ、調理作業や献立作成などを通じ、生徒の学習に少しでもお役立てできるような取り組みをしています。12月8日には「職場体験学習」で学校給食共同調理場を訪れた益田中学校の生徒が作成した献立を提供しました。

中学生にとっては就労すること自体が初めての体験であることから、コミュニケーションの取り方にも戸惑いが生じるものです。職場体験学習の冒頭では職員から調理工程の説明を受け、それ

ぞれの作業に真剣かつ丁寧に取り組むことで徐々に緊張感もほぐれ作業に従事できたようでした。

大量調理という性格上、学校給食で取り扱う食材料量は相当数に及びます。野菜の洗浄や包丁を使って野菜を切り分ける細かい作業でも、処理する量がとても多いにもかかわらず、根気強く作業に関わっていました。

小学校に赴いた際も、職場体験の目的を説明すると共に、児童が当日の給食に関心が持てるようクイズの出題に取組むなど積極的な姿勢もみられました。

献立作成で思いを伝える！

そうした職場体験で得たものを具現化する上で、実際に献立を作成してもらいました。調理員や栄養士の立場にたつて、旬の食材や地場産物をふんだんに使った「とにかく野菜」というテーマを設定し、給食を食べる児童・生徒

★12月8日の献立

ごはん、大根のみそ汁、牛乳、ほうれん草の卵炒め、味付け海苔

■益田中学生が考案「とにかく野菜」



献立指導 福代 愛

にテーマを伝えたいという思いが込められています。自分の考えを表現することが難しいところもあったようですが、3日間の体験で習得した内容や職員の実務経験談等を聞くなかで、感じ取った点などがとても上手に表現された献立になっています。

働くことの意義や社会参画の意識を育むなど、従来の学校の授業とは違った学習の場になったとすれば、この上ない喜びです。

奇贈、寄付のお礼

図書館へ図書寄贈

株式会社 山陰中央新報社 様

益田市奨学金へ寄付

下本郷町 故 大久保 束 様

匿名希望 様

島根県青年の家友の会 様

一般社団法人 茶道裏千家淡交会石見青年部 様

年忘れ益田市民余芸大会事務局 様

市内小中学校へ図書寄贈

大阪市北区 木村 勝男 様



年忘れ益田市民余芸大会事務局 様



茶道裏千家淡交会石見青年部 様

ありがとうございました。

